

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

昔話の中で、花咲か爺さんは枯れ木に花を咲かせます。(1) 「枯れ木に花が咲く」ということは驚くべきことです。(2) 見逃してはいけないことがあります。それは生きている普通の桜の木に桜の花が咲くこともまた驚くべきことではないかということなのです。江戸時代の思想家・自然哲学者である三浦梅園はこんなふうに書いています。「うたがひあやしむべきは、変にあらざして、常の事なり。」これは「疑い怪しむべきものは、世の中の変異ではなく、通常のものである。」という意味です。(3) 梅園はこうも述べています。「枯れ木に花咲きたりといふとも、先(ま)ず、生木に花さく故をたづぬべし。」こちらは「たとえ枯れ木に花が咲いたとしても、まず生木に花が咲く理由を尋ねるべきだ。」という意味です。考えてみたら、我々は自分自身が(4) この世に生を受けて生きているのかもわかりません。どうして地球は存在するのでしょうか。どうして人は死ぬのでしょうか。何も知りません。(5) 今自分がここに生きていることが奇跡であり驚くべきことです。それと同じように一輪の花が桜の木に咲くこともまた奇跡であり驚くべきことです。我々が日々当たり前だと思っていることの奥にすでに奇跡が隠れているのです。

ア しかし    イ もちろん    ウ だとしたら    エ なぜ    オ さらに

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

彼は話が上手である。(6) 、外見にも気を遣っており、人に良い印象を与えることが極めて多い。(7) 、彼は実のところ思いやりの心に欠けた人間である。(8) 結局は人の期待を裏切り、信用を失ってしまふ。古代中国の思想家であった孔子は「巧言(こうげん) 令色、鮮(すくな) し仁(じん)」と言ったが、これは(9)



彼のような者のことを言うのである。なお、ここで言う「巧言（こうげん）」は巧みな言葉を用いること。また「令色」の「令」は「うつくしい」「善い」という意味、「色」は顔色である。「鮮」は「少ない」という意味を持つ「黓」という字と音で通じるため「すくなし」と読む。「仁」は「思いやり」「いつくしみ」の心である。

(10) 「仁」という漢字は「イ（にんべん）」に「ニ」から成り立ち、「二人」を表現する。自分一人ではなく相手がいる時には、互いに親しみ合い、相手を思いやる気持ちが必要なのである。

カ しかも

キ まさに

ク ちなみに

ケ だから

コ しかしながら